



平成29年度事業予定表

黒字→県連合会行事 赤字→全日私幼連 緑字→県等行事
(予定表は5月25日現在確定のものを掲載)

4月

April

- 12(水) 広報委員会
振興部会
- 13(木) 総務部会
- 14(金) 研修事業部・研究部 部会
- 17(月) 経営管理部会
- 18(火) 正・副会長会
協会会長
運営委員会
- 25(火) 全日私幼連 常任委員会
- 26(水) 監事監査
- 27(木) 関東地区会・神奈川地区会 団体会長・監査会・理事会

5月

May

- 8(月) 経営管理部会
- 9(火) 全日私幼連 理事会
若手後継者のための保育勉強会
- 10(水) 正・副会長・部・室・次長会
運営委員会
理事会
- 17(水) 新規採用教員研修会
- 23(火) 研修事業部・研究部 部会
- 24(水) 全日私幼連 定時総会
- 25(木) 広報委員会
- 26(金) 正・副会長会
平成29年度通常総会
- 31(水) 特別支援教育研修会

6月

June

- 5(月) 経営管理部会
- 9(金) 102条園プロジェクト委員会
- 13(火) 全日私幼連 常任委員会
- 14(水) 若手後継者のための保育勉強会
中堅教諭対象講習会(横浜美術館子どものアトリエ)
- 16(金) 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 委員総会
正副会長会
運営委員会
- 19(月) 研修事業部・研究部 部会
- 21(水) 新規採用教員研修会
- 22(木) 園内研修
- 29(木) 特別支援教育研修会

7月

July

- 1(土) 免許状更新講習会(相和)
- 5(水) 新規採用教員研修会
- 8(土) 就職相談会
- 10(月) 正副会長会
運営委員会
- 11(火) 全日本私立幼稚園PTA連合会 総会
- 12(水) 研修事業部・研究部 部会
- 30・31(日・月) 免許状更新講習会(相模原)

8月

August

- 1・2(火・水) 免許状更新講習会(県連)
免許状更新講習会(横浜)
- 3・4(木・金) 免許状更新講習会(川崎)
- 4(金) 免許状更新講習会(横浜)
- 7(月) 免許状更新講習会(川崎)
- 7・8(月・火) 新規採用教員研修会
- 8・9(火・水) 関東地区教員研修新潟大会
- 18・19(金・土) 幼児教育実践学会(札幌)
- 23・24(水・木) 若手後継者のための保育勉強会
- 24(木) 免許状更新講習会(横浜)
- 25(金) 全県幼稚園教育課程研修講座
- 30(水) 男性保育者勉強会

9月

September

- 4(月) 経営管理部会
- 5(火) 父母連常任委員会
- 6(水) 研修事業部・研究部 部会
- 7(木) 特別支援教育研修会
- 8(金) 全日私幼連 常任理事会
- 11(月) 正・副会長会
協会会長
運営委員会
- 13(水) 新規採用教員研修会
- 20(水) 免許状更新講習会(川崎)
中堅教諭対象講習会(横浜美術館子どものアトリエ)
- 25(月) 全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会

10月

October

- 2(月) 経営管理部会
- 12(木) 正・副会長・部・室・次長会
運営委員会
- 16・17(月・火) 設置者・園長全国研修大会(大分)
- 18(水) 免許状更新講習会(川崎)
中堅教諭対象講習会(横浜美術館子どものアトリエ)
- 19(木) 園内研修
- 25(水) 研修事業部・研究部 部会
- 26(木) 特別支援教育研修会
- 28(土) 免許状更新講習会(横浜)
- 28・29(土・日) 免許状更新講習会(小田原)
- 未定 父母連常任委員会

11月

November

- 6(月) 正・副会長・部・室・次長会
運営委員会
- 9・10(木・金) 関東地区代表者協議会神奈川大会
- 13(月) 経営管理部会
研修事業部・研究部 部会
- 15(水) 免許状更新講習会(川崎)
若手後継者のための保育勉強会
- 17(金) 全日私幼連 常任理事会
- 21(火) 父母連研修大会(県立青少年センター)
- 22(水) 三浦半島地区教育研修大会
乳児保育セミナー
- 24(金) 幼・保・小連携研修講座

12月

December

- 1(金) 特別支援教育研修会
- 4(月) 経営管理部会
- 5(火) 全日私幼連 常任理事会
- 6(水) 乳児保育セミナー
- 12(火) 父母連常任委員会
- 13(水) 研修事業部・研究部 部会
- 18(月) 正・副会長会
運営委員会
- 20(水) 男性保育者勉強会
- 22(金) 園内研修

1月

January

- 12(月) 経営管理部会
- 13(土) 湘南地区教育研究大会
- 18(木) 正・副会長・部・室・次長会
運営委員会
- 17(水) 川崎地区教育研究大会
- 19(木) 正・副会長・部・室・次長会
運営委員会
- 20(土) 横浜地区教育研究大会
- 22(月) 研修事業部・研究部 部会
- 24(水) 公・私立幼稚園、こども園合同経験者研修講座
- 27(土) 幼稚園教育経営研修会
- 31(水) 県央地区教育研究大会

2月

February

- 5(月) 経営管理部会
- 13(火) 父母連常任委員会
- 16(金) 正・副会長会
協会会長
運営委員会
- 26(月) 研修事業部・研究部 部会

3月

March

- 1(木) 若手後継者のための保育勉強会
- 5(月) 経営管理部会
- 6(火) 正・副会長会
運営委員会
理事会

INDEX

2・3

29年度のスタートにあたり 会長 小澤 俊通
神奈川県県民局長 就任にあたって
Pride of KANAGAWA
平成29年度 神奈川県私立幼稚園連合会 役員名簿

4・5

副会長の考える 連合会のあり方
本年度活動方針

6・7

研修事業部・研究部活動方針
特別支援教育研修会/A部会・B部会 年間テーマ
ケンタガーデン 漫画家 ビッグ錠

8

法律相談事業のご案内/教育相談事業のご案内
研修会報告/新規加盟園情報
県連ホームページ「会員ページ」開設

29年度のスタートにあたり

既に新学期が始まり、2ヶ月以上過ぎて各園とも子ども達の元気な声で満ちあふれておられると存じます。この一年も「子ども達の最善の利益を目指し、幼稚園教育に邁進して参りましょう。」



公益社団法人
神奈川県私立幼稚園連合会

会長 小澤俊通

新制度は三年目を迎える

この4月に「子ども・子育て支援新制度」は3年目を迎えました。新たに47園が移行し、県内においては約27%の園が、新幼保連携型認定こども園、幼稚園型認定こども園、施設給付型幼稚園となりました。移行された幼稚園においてはどのような課題を抱えておられるでしょうか。新制度は定着しつつあるものの、まだまだ改善すべき問題は山積しています。公定価格の加算の複雑さ、処遇改善の実施方法、2号・3号認定の利用調整、複数の市町村行政とのやり取りなど、移行された園からは様々な声が聞こえてきます。国の姿勢としては、制度の見直しを視野に入れながら問題解決を図るという事なのでしょうが、現場としては速やかな改善を求めています。県連としては、引き続き全日私幼連を通じて制度の速やかな改善を働きかけ、県の行政当局と綿密に連携しながら、新制度へ移行した園の支援に努めていきたいと考えております。

私学助成の充実を

県内私立幼稚園の7割以上が今まで通りの平成29年度当初予算では、園児一人当たりの7,693円増の160,198円となり、かつてない大幅増となりました。この

3年間で園児一人当たり約17,000円の増額となりました。県の担当課のご努力に改めて感謝申し上げます。県では「私学助成制度検討協議会」を設置して私学助成のあり方を議論しております。県連からは岩本・池田両副会長が参画し、標準的運営方式の私学助成について協議を続けてまいりました。平成29年度は教職員割の中に「在職年数が長い教員への加算」を実現することが出来たのも、両先生のご尽力と担当課のご理解の賜であると存じます。毎年のように、県連は振興部を中心に役員が何度も県議会各会派に要望を続け、教育振興連盟との連携もあり、大きな成果を上げることが出来たと思います。しかしながら、全国47都道府県を見渡すと神奈川県は依然として、補助単価が低位に留まっています。あらゆる機会を捉えて私学助成の充実を働きかけていかなければなりません。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

幼児教育無償化への歩み

各政党の政策を見ると程度の差こそあれ、「幼児教育の無償化」を取り上げて頂いております。財源に関しても「教育国債」や「こども保険」という具体的な提案がなされていきます。まだまだ乗り越えなければならない課題はありますが、国民の意識の中にも「幼児教育無償化」という考えが理解

神奈川県県民局長 就任にあたって

河合 宏一

皆様におかれましては、日頃から本県の幼稚園教育の振興と発展にご尽力をいただき、改めて感謝申し上げます。私は本年4月に県民局長に就任し、私学行政に携わることとなりました。

平成30年度に施行される新しい幼稚園教育要領が3月31日付けで告示されました。この教育要領では「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明確化されました。また、同時に告示された小学校学習指導要領とあわせ、小学校との連携と連続性を一層推進するものとされています。

県では、非常に厳しい財政状況ではありますが、幼児教育の一層の推進を図るため、平成29年度予算

では、私立幼稚園への經常補助金について園児一人当たりの単価を増額し、総額133億6千6百余万円の予算を編成しました。

これからも、神奈川の未来を担う子どもたちが健やかに育つ社会の実現に向け、幼児教育の振興と皆様方への支援に努めてまいりたいと考えております。私立幼稚園の皆様方におかれましては、子どもたちの健やかな成長のために、一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。就任のご挨拶といたします。



祝 Pride of KANAGAWA

平成29年4月29日付けで発表された国の行う春の叙勲で、前県連会長で現在顧問の、(学)初音丘学園 スカイハイツ幼稚園・初音丘幼稚園 渡邊眞一 理事長・園長が瑞宝双光章を受章されました。心よりお祝い申し上げます。



学校法人初音丘学園
スカイハイツ幼稚園
初音丘幼稚園
理事長・園長
渡邊 眞一 先生

解説

瑞宝双光章(ずいほうそうこうしょう)

国および地方公共団体の公務または公共的な義務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた方に贈られる。

に保護者の教育費負担の軽減策は進んでおります。

しかしながら、県内34市町村の中にはまだこの就園奨励費事業を実施していないところがあります。その自治体の中に私立幼稚園がなく、この事業は必要ないと考えておられるか、各自治体負担の3分の2の予算を確保出来ないかと判断されているか、どちらかでしょう。しかし、制度のない市町村から他の自治体の私立幼稚園に通園しているケースがあります。その保護者にとってはこの補助金制度の恩恵を受けられないことになってしまいます。県連としては全ての市町村で実施して頂けるよう、地区協会と連携していききたいと考えています。就園奨励費は新制度に移行した園にとっても、市町村の利用者負担額に反映されますので、重要な位置を占めています。県内市町村での完全実施に向けて努力してまいります。

研究・研修活動の充実を

新制度の施行に伴い、新幼保連携型認定こども園の「保育要領」が制定されました。幼稚園教育要領の改訂も行われ、今年度は「新幼稚園教育要領」への理解を深め、平成30年度からの実施に備えていくこととなります。私達は常に幼児教育の現場において、子ども達と向き合い、教育の質の向上

に努めています。さらに今年度も研究・研修活動を充実させるべく、研究部と研修事業部はご努力頂いております。全日私幼連においては「0〜2歳児」に関する保育研究が進められ、3歳未満児を視野に入れたの研修が必然のように語られています。県連としても、一昨年より開催している「乳幼児セミナー」を進化させていきたいと考えております。未来を見据えた研究・研修活動が必ずや私立幼稚園の明日を切り開いてくれると信じております。

地域に根ざして幼児教育施設として

幼稚園は地域性の高い教育施設です。それぞれの園は建学精神に基づき設立されました。長い歴史を持つ幼稚園が多く、地域の中でなくてはならない存在であると存じます。私達はいつの時代も課題を抱えながら、子ども達のために困難を乗り越えて来ました。これからも永続的に発展していくためには、不断の努力が必要です。地域をしっかりと見つめる中で、保護者の期待に応えられるよう教育の質の向上や維持に努めなければなりません。

そしてまた、職場で働く先生方の幸せも実現できるよう、働きやすい職場作りにもご努力をお願い申し上げます。幼稚園の先生を目指す若者を一人でも多く増やし、また子育てから卒業し就労していない経験者も受け入れながら、理想的な教育環境を築いて頂きたいと願っております。

平成29年度も役員が一丸となり、私立幼稚園の振興と発展に貢献していきたいと存じます。引き続き加盟園各位のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成29年度 神奈川県私立幼稚園連合会 役員名簿

役 職		氏 名 (太字は協会長)	園 名 (園役職)
顧 問		永 保 固 紀	田名幼稚園(理事長・園長)
顧 問		渡 邊 眞 一	初音丘(理事長・園長)
理 事	会 長	小 澤 俊 通	厚木田園幼稚園(理事長・園長)
	副会長(振興)	鈴 木 伸 司	みゆき幼稚園(理事長・園長)
	副会長(総務)	安 西 透	平和幼稚園(園長)
	副会長(研事)	岩 本 勉	南大野幼稚園(理事長・園長)
	副会長(経管)	池 田 清	ふじがおか第二幼稚園(理事長・園長)
	副会長(研究)	余 郷 有 聡	津久井幼稚園(理事長・園長)
	振 興 部	木 元 茂	幸ヶ谷幼稚園(園長)
	研修事業部次長	山 崎 和 子	鶴見大短期大学部附属三松幼稚園(園長)
	総 務 部 長	苅 込 大	横浜さがみ幼稚園(理事長・園長)
	振 興 部 長	石 井 和 則	認定こども園はらのこ原幼稚園(理事長・園長)
	財 務 室 長	小 泉 浩 之	鹿島田幼稚園(副園長)
	振 興 部	橘 明 子	平和学園幼稚園(園長)
運 営	研修事業部長	田 中 伸 宜	綾南幼稚園(園長)
	研 究 部 長	亀ヶ谷 忠宏	宮前幼稚園(園長)
	経営管理部長	近 藤 康 弘	名瀬幼稚園(理事長・園長)
	広 報 室 長	高 野 正 基	湘南台幼稚園(理事長)
	総 務 部 次 長	鈴 木 豊 司	横須賀幼稚園(理事長)
	振興部部次長	仁 藤 一 成	川崎こまどり幼稚園(理事長)
	研 究 部 次 長	黛 裕 治	清心幼稚園(理事長・園長)
	経営管理部次長	浅 谷 学	中野島幼稚園(理事長)
	振 興 部	竹 折 輝 隆	横須賀若葉幼稚園(理事長)
	経 営 管 理 部	丸 山 吉 子	大船カトリック幼稚園(園長)
	振興部・経営管理部	村 上 裕	あけの星幼稚園(園長)
	振 興 部	小 山 直 久	伊勢原山王幼稚園(理事長)
委 員	振 興 部	武 藤 保 之	友愛幼稚園(園長)
	振 興 部	山 本 安 雄	鈴鹿幼稚園(理事長・園長)
	振 興 部	川 崎 永	つくしの幼稚園(理事長・園長)
	振 興 部	小 島 厚 子	小鮎幼稚園(理事長・園長)
	経 営 管 理 部	佐 野 治	横浜愛隣幼稚園(園長)
	振 興 部	田野岡 由紀子	認定こども園山王台幼稚園・風の子こども園(園長)
	総 務 部(広報)	菅 沼 正 平	藤棚幼稚園(園長)
	研 究 部	安 部 富 士 男	安部幼稚園(理事長・園長)
	総 務 部	西山 俊太郎	認定こども園峯岡幼稚園(理事長・園長)
	総 務 部	和 田 嘉 明	柏幼稚園(理事長・園長)
	経 営 管 理 部	清 水 満 正	まきが原幼稚園(園長)
	研 修 事 業 部	江 津 秀 子	八幡橋幼稚園(園長)
員	研 究 部	林 大 樹	天使幼稚園(園長)
	総 務 部	野 末 晃 秀	中山幼稚園(園長)
	研 修 事 業 部	岩 谷 恭 子	認定こども園エクレス(名誉園長)
	振 興 部	伊 藤 夏 夫	丸山幼稚園(園長)
	振 興 部	宮 裕	かまくら幼稚園(園長)
	研 究 部	石 井 稔 江	かぐのみ幼稚園(園長)
	経 営 管 理 部	林 光	聖鳩幼稚園(園長)
	研 修 事 業 部	青 木 正 子	平塚めぐみこども園(理事長・園長)
	経 営 管 理 部	水 島 博 恭	梅の木幼稚園(副園長)
	総 務 部(広報)	島 田 美 緒	浅野記念御濠端幼稚園(園長)
	振 興 部	山 口 繁 美	つるま幼稚園(理事長・園長)
	振 興 部	八 木 肇	洲野辺ひばり幼稚園(理事長・園長)
経 営 管 理 部	溝 渕 真 澄	誠心第一幼稚園(副園長)	
監 事	事	角 和 一 太 朗	ニューライフ幼稚園(園長)
監 事	事	押 本 靖 貴	押本経営労務事務所

副会長の考える 連合会のあり方

県連合会の5名の副会長に「連合会のあり方」についてお聞きしました。全3回の連載で、第1回目となる今回は安西透副会長と余郷有聡副会長にお聞きしました。

連載

第1回

多様な幼稚園形態の中での連合会の役割 安西 透（総務部担当）



平成27年度に新制度がスタートして2年が経ち、今までの幼稚園から様々な形態の幼稚園ができました。今までは学校法人・宗教法人・個人立の3形態の幼稚園だったので、予算要望を実行する上では焦点が絞りがちだったと思いますし、研修会などを運営するにあたっては比較的問題も少なかったと思います。新制度の幼保連携型、幼稚園型、施設給付型に移行した園と従来の幼稚園との課題や問題点が違うこと、更には研修会の実施方法などについての課題も多く出てきました。

新制度の移行園では市町村との課題が多く、県との関係が少なくなってきました。特に神奈川県では政令市でもある横浜市や川崎市、相模原市の課題と他の市町村の課題とはズレがあります。更に今後はキャリアアップにつながる研修が求められています。このように様々な問題を解決していくには行政や議会との連携が県レベルでも市町村レベルでも必要です。横浜市は県より権限が委譲されていますが、移行園がまだ3割程度で、平成30年に向けて4割になると言われていますが、半分以上が私学助成の園として存在しているのでまだまだ県との関係も重要視されます。「数は力」と言われますが、各分野に要望していくためには必要な力です。

このようなことから、今後の連合会は分裂することなく各園の立場を理解し、意見を聞いて協力・連携していくことが最も重要だと思います。今こそ団結して様々な課題に立ち向かっていかなくてははいけないと思います。

互いに力を合わせて

余郷 有聡（研究部担当）



平成28年度より本職を任命され1年が経ちました。昨年3月、初めて連合会事務所を訪れた時、場所がわからず事務局さんに電話で道順を伺いながら歩いたことが笑い話のように思い出されます。小澤会長はじめ副会長、皆様にいろいろ教えていただきながら2年目がスタートしています。昭和29年創刊の会報誌は本号で200号！記念すべき節目です。私の父も連合会で副会長を務め、きっとこの会報に寄稿したことでしょう。父と同じ寄稿は大変光栄なことです。

さて「連合会のあり方」ですが、基本は県内12協会の加盟全園が安心して日々の幼児教育運営ができる環境整備が最優先です。その中には行政への働きかけ、私学助成園、認定こども園、施設給付型園とのかかわり方、答えを出していかなければならない課題がたくさんあります。そして関東地区代表者協議会、創立70周年記念事業等々、諸事業も控えています。

私は次の事を心に決めています。“「不平不満」は絶対に言わない事”です。世の中には、「不平不満」ばかり言う人がいます。残念なことに「不平不満」を言う人の周りには同種の人が集います。いくら「不平不満」を言っても事が前向きに進むことはないでしょう。どんな問題、事業があろうとも「連合会のあり方」は、加盟園に通園する「お子様の更なる成長」が一番大切なことを忘れてはなりません。

連合会に集う先生方は皆様寸暇を惜しんで会議、運営に携わってくださっています。そして先生方は大変協力的だと日々感じています。「不平不満」を言うことなく、加盟園の皆様と、互いに力を合わせ連合会運営に鋭意努力していきましょう！

総務部

さらに充実した運営を

総務部長 荻込 大



県連総務部といたしましては、毎月行われる正副会長会議や、運営委員

会などの会議開催が重要ですが、皆様からのご意見や慎重審議を頂きつつ、滞りなく行われておりますことに、改めて感謝申し上げます。今年度も皆様のご出席をお願いいたします。

活動としては、今まで通り各部との連携を密にすることは言うまでもありませんが、今年は、8年に1回行われる関東地区代表者協議会神奈川大会が、来る11月9日(木)・10日(金)に、ホテルニューグランドにて開催されます。もう既に各部にご協力を頂いておりませんが、開催に向けてまだまだ協議事項がありますので、何卒宜しくお願いいたします。また来年、神奈川県私立幼稚園連合会は、創立70周年を迎えます。周年記念大会開催に関しては、新役員の先生が主となると思いますが、その日程や内容等の準備を始めるところです。

広報室は、会報の内容を少し変えたいと考えています。皆様からのご意見を頂ければ幸いです。

皆様にお願ひすることが多く大変恐縮しておりますが、更なる充実した運営のために、何卒ご理解のほど宜しくお願いいたします。

財務室

さらに厳しく！

財務室長 小泉浩之



待機児童問題が叫ばれて久しく、国も待機児童解消を錦の御旗の如く掲げ、保育所の数を無作為に増やす政策をとっています。

また、子どもが生まれたら保育所に預け

本年度の活動方針

働きに出ることが女性の活躍であるとの間違った考えのもと、待機児童は更に増え、子どもは保育所に入れなければならないという風潮が生まれています。

保育所の園児が増加するにつれて幼稚園児の減少は目に見えて増えています。県内幼稚園・認定こども園に於いても園児の確保に苦労しているところであり、県連合会としても各加盟園の園児数の減少に伴い、財政は非常に厳しいものとなっています。しかしながら、そのような中でも保育の質の向上、保育者の質の向上は必要不可欠である事には変わりはなく、幼稚園の良さをアピールする為には更に力を入れる必要があります。

研究・研修会開催にあたり、各担当の先生方には予算の段階から厳しい数字でしか応えられず、大変なご苦労を強いているのが現状です。そんな中でも各員の努力により研究・研修の質を落とすことなく経費の削減に多大なご尽力を頂き、健全な財政の運営が出来ております。

今後とも県連合会の運営を円滑に進めるために財務運営に一層の努力を致します。

広報室

神私幼200号達成

広報室長 高野正基



今回で「神私幼」は200号の発刊を迎えました。そこで会報の歴史を紐解いてみます。まず、昭和23年11月に神奈川県幼稚園協会が発足し、6年後の昭和29年7月に広報誌が発刊され、年間1回の刊行で総務部が担当したようです。当初は手書きでガリ版印刷でした。活字印刷になったのは3年後の昭和32年2月に3号が発刊され、事務局兼広報部に移り変わったそうです。

近年、会報を作成した先生方から「我々のころは、神奈川県新聞社に依頼して印刷したんだよ。新聞の合間に印刷するから一

現在、8名の会報担当委員の先生方と試行錯誤を重ね、公益社団法人としての意識を持ち、皆さんに読みやすく親しまれる会報を目指し、作成しています。

最後になりましたが、今号では初の試みとして、漫画家のビッグ錠先生に4コマ漫画を描いて頂き、掲載いたしました。どうぞ誌面の箸休めとしてご覧ください。

振興部

幼稚園認定こども園の永続的な発展

振興部長 石井和則



人口の減少、少子化、待機児童対策、母親の就労希望に伴う入園児の減少など社会構造の変化にともない、多様な教育・保育のニーズにたいして柔軟に対応していくことが求められている中、幼児教育の質の向上、人材確保、処遇改善など大きな課題が山積となっています。

子ども・子育て支援新制度がスタートし3年目を迎えましたが、県内市町村において利用者負担額の設定や公定価格の加算措置などに大きな格差が生じ、また、利用調整や事務量の増大など新たな課題も浮き彫りになり、将来の幼稚園経営の舵取りに困惑している園も多いかと思えます。一方、経常費補助金において園児一人当たりの単価が前年度の7,693円増となり、平成28年度予算を大きく上回りました。私学助成を選択する園にとっては明るい兆しが見えてきたのではないのでしょうか。

このような現況を踏まえ、私学助成園・新制度園どちらを選択しても、幼稚園教育

経営管理部

昨年度の反省を踏まえて

経営管理部長 近藤康弘



今年度は前年度の反省を踏まえて、就職相談会に向けて3月に養成校へアンケート調査を依頼しました。それにより開催時期や、学生が今何を就職情報として知っていたのかを確認できました。相談会で配布する冊子の内容の見直しにも活用する予定です。

また、今年度より求人活動を計画している協会、現在検討中の協会に、少しでも協力や支援ができればとも考えております。そして、関連事業として、県からの委託事業である既卒者セミナー開催にも引き続き応募し、一人でも多くの既卒者と新卒者の皆様の就職活動に結び付けられるよう願っています。平成29年度に構築される予定の全日本私立幼稚園連合会の就職支援システムにも期待しています。

また、新たな試みとしては、幼稚園に職業体験にくる中学生に配布するチラシを作成して、早い段階から学生に幼稚園教員の仕事の魅力についても伝えていきたいと考えています。

その他、102条園プロジェクト委員会、後継者育成研修会の開催、情報収集、調査分析、部会の開催、代表者協議会の運営等の事業を部員の方々、事務局の協力を頂き、年間計画に沿って実施して参ります。

研修事業部

県連の70周年に向けて

研修事業部長 田中伸宜

少し早いかもしれませんが

せんが、平成30年で神奈



合会となり、平成25年に公益社団法人に移行しました。

この歴史だけでももの凄い変化であることがわかります。今、研究部と研修事業部が県連の研究・研修部門の窓口であります。厳密な部門ごとの仕分けはありませんが、この研究部と研修事業部が「研究の神奈川」と言われた研究・研修部門を支えていることとなります。時代の変化と共に、変革されてきたこの組織。その研修事業部の部長を仰せつかつて早2期。どんな研修・研究が必要なのか？ 今、70周年を迎えるにあたって再考が必要な時期ではないかと思えます。現場の先生方に必要とされる研修を提供していくことが我々の使命であると理解していますが、現実には制度改革にともなう処遇改善の為の研修への対応等、現場の先生方に必要とされる研修と少しかけ離れていくような気がします。ぼやいていてもはじまりません。平成29年度も、少しでも現場の先生方の役に立つ研修を構築できるように頑張りたいと思います。

川県私立幼稚園連合会は発足から70周年を迎えます。すばらしいではありませんか。設立以来今日まで幼児教育の振興と内容充実のために諸先輩方が築き上げられた組織。そして変化とともにあった組織。今後どのような組織に向かおうとしているのか、それは組織加盟園の設置者・園長の一人ひとりの意識そのもので変化していくことと思われまます。

研修事業部も研究部組織から事業の拡大とともに新設され、早5年。70周年を迎えるにあたって振り返ると、この団体は実に凄い変化を伴っています。

昭和23年、神奈川県幼稚園協会設立（公私合同で内訳は公立3園、私立24園）からはじまり、昭和36年に神奈川県私立幼稚園連合会と改組（地区別協会に分ける）され、昭和44年、社団法人神奈川県私立幼稚園連

寄稿 特別支援教育研修会

「心の核」を育てるために

講師 上原 芳枝 先生

（特定非営利活動法人発達支援機関
リソースセンターOne代表理事 臨床発達心理士



園には、思い通りにならないと嘯みついたり手が出たり暴言を吐いたりする子、走り回ったりしゃべり続けたりする子、みんなと一緒にいるのが嫌で離れたままだったりする子など、適切でない言動に至る子がたくさんいます。本来努力なしに年齢とともに備わっていく力が、他の子よりもゆつくりと育つ子があり、特に幼児期には他の子との差が顕著なため、1クラスに何人もこのような子がいるはずで

す。そして幼児期は、受け入れられている安心感のもと、「心の核」を育てる時期でもあります。

しかし、子どもの発達の事情を知らないことで、戒めのために何度も子どもの名前を呼んだり、何度も同じ事を言い聞かせたりして「心の核」を育てることが難しくなってしまうことがあります。知的に遅れない場合、うまく育てれば遅れ馳せながら小学校3・4年生ごろまでには他児に近づき自立たなくなっていくものですが、大人の対応によって心の問題を引き起こし、状況が悪くなってしまうことも少なくありません。一方で先生方も日々消耗し、ご自分を責めたり、周囲に指導力不足と指摘され、やるせない思いをされていることもしばしばです。また、彼らの行いが他の子に与える影響も少ないとは言えないでしょう。

気になる子一人ひとり、一つひとつの具体的な言動を脳機能の視点でとらえ、うまくいかない要因をふまえた理にかなった支援は子どもを伸ばし、先生方も「くたびれ儲け」から解放します。そしてこの視点は他の子一人ひとりの個性や性格にも当てはめることができ、幼児教育のクオリティーをあげることにあります。特別支援は特別ではないのです。

私は現場で先生方の愛情や熱意に触れさせていただく機会に恵まれ、年200回以上園にお伺いしています。先生方とともに培ってきた実践をお伝えすることにより、集団のなかでうまくいかない事情のある子、周囲の子ども、そして何より先生方が苦しさの中で園生活を送ることのないよう、微力ながらお役に立てれば幸いです。



©ビッグ錠

筆者プロフィール

漫画家

ビッグ錠



昭和14年大阪生まれ
高2の時、貸本マンガ「バクダンくん」でデビュー。
昭和46年「少年マガジン」で「釘師サブやん」がヒット。
以後、包丁人味平（少年ジャンプ）
ドクロ坊主（月刊少年ジャンプ）
一本包丁満太郎（ビジネスジャンプ）等
ヒット作多数。
現在、神奈川新聞掲載のグルメ記事にイラスト執筆中。

研究部

29年度は改訂教育要領
咀嚼の年となります

研究部長 亀ヶ谷忠宏



30年4月より改訂となる幼稚園教育要領が施行されます。私立幼稚園全体が真に保育の質を維持し、社会の中で信頼され永続性を担保していくためには、一園一園が幼児教育の土台となる教育要領を理解し、これを踏まえた上で各園の教育を行っていくことが絶対条件となります。そのために29年度は、改訂教育要領を理解し咀嚼していく重要な年度となります。今回の改訂で最も大きなポイントと言えるのが、「10の姿」が設定されることで10の姿のベースには、小学校以降とのつながりを踏まえて新たに示される、幼児期に育みたい資質・能力の「3つの柱」「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力・人間性等」があります。5領域の考え方は引き続き維持されます。一方で、5領域を踏まえたうえで、5歳児終了までに育つてほしい姿をより具

A部会 年間テーマ「幼児理解と園内研修」公開保育を通して自園の保育を見直す

講師 佐藤 康富 先生

（鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科 教授）

やってよかった公開保育

A部会では、今まで子ども理解について研究を重ねて参りました。事例を紙でレジュメのような形で出すことから始まって、写真を使った検討会を経て、それがビデオを使うようになり、だいたい子どもたちの様子を共有できるようになりました。しかし実際の様子から検討したいという思いから、公開保育をすることで、子ども理解を深めよう、皆で保育を共有しようとなり、2年前から公開保育を基調にした研究をしています。「公開保育を通して自園の保育を見直す」というスローガンのもと、保育を公開した園も公開保育に参加した先生も、両者が「やって良かった、保育を見直すきっかけになった」と言

うとなり、2年前から公開保育を基調にした研究をしています。「公開保育を通して自園の保育を見直す」というスローガンのもと、保育を公開した園も公開保育に参加した先生も、両者が「やって良かった、保育を見直すきっかけになった」と言

B部会 年間テーマ「幼児理解と評価」

講師 相馬 靖明 先生

（お茶の水女子大学発達教育科学研究協力研究員、保育のデザイン研究所研究員、東洋大学ライフデザイン学部非常勤講師）

写真を使った保育プロセスの可視化と新しい教育・保育要領を学ぶ

本年3月に告示された要領・指針の改訂では、幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園が、幼児教育を行う施設として共有すべき事項として「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育つてほしい姿」が新たに示されました。また、幼稚園・認定こども園の要領では、総則の中に「幼児（園児）理解に基づいた評価の実施」という項目を新たに設け、指導の過程を振り返ることで一人ひとりの良さや可能性などを把握し、指導の改善に生かすこと、評価の仕方の創意工夫を行うことを求めています。幼稚園・こども園での評価・改善では「カリキュラム・マネジメント」という言葉も使われています。そこでは、教育課程や全体的な計画の実施に必要な人的または物的な体制の確保を図りながら、組織的・計画的な教育活動の質向上に努めることが求められています。

そこでB部会では、満3歳以前の育ちと就学後の学びの姿との繋がりの中で幼児を理解し、実践を評価する視点を新たな要領・指針に学び、探究していきます。

具体的には、自園での実践を振り返るための素材として写真を持ち寄り「写真を用いた保育記録」を作成し、保育のプロセスの可視化を行い、評価の視点を育みたい資質・能力から考えていきます。毎回、その時期に適した活動をいくつか体験していただき、それを自園に持ち帰り実践した場面の写真を次回検討することも予定しています。

現在初任保育者の指導を担当している方、自分自身が経験年数の少ない保育者などの環境構成の仕方を学びたい方など、参加自身が現在チャレンジしていることや課題意識を持って参加される方を歓迎します。（文責・研究部 久富 多賀子）

体的にしたものが「10の姿」です。10の姿はかなりレベルが高い内容であくまで方向性であり、決して到達目標ではない点など正しく理解していく必要があります。新しい幼稚園教育要領では、教育課程や指導計画を園全体で充実させることの大切さが、「カリキュラム・マネジメント」という言葉で示されます。遊びや活動が「主体的か」「対話的か」「深い学びとなっているか」というアクティブ・ラーニングの3つの視点から保育を改善していくことが求められています。

県連研究部では、今年度開催される研究会・研修会と改訂される教育要領をできるだけ結びつけていく意識を持って取り組み、さらに保育の質を高めていく姿勢が大事になると考えています。

そして5年間掲げてきた神奈川県連の研究テーマ『今だから考えよう！幼稚園教育の本質を！』も最後の年となり、このテーマとも重ね合わせて行きたいと思っています。今年も研究部の研究・研修活動、その他、関東地区大会、新採研、幼児教育実践学会、県・国の対外研究にも研究部員が協力しながらしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

えるような研究になってきています。

保育を公開するということは、園にとってはとてもハードルが高いように思えますが、公開園を批判するのではなく、同じ保育をするものとして共感し合うところから自身の保育を捉え直してきました。参加者もその園の良いところを見つけることで、自園の保育の見直しに結びつけようとしています。両者の肯定的な見方から「子ども中心」に語り合うことによって、新たな見方、発見、気づき、解決への道があります。そこからそれぞれが自園の保育を見つめ直す一歩を踏み出すことによって、保

育者も子どもたちも再び学び始めることが出来ると思います。この研究活動を通して、「自らを開く」ことで、自身の園を違った視点で眺めることができ、保育の質を高めることに通じると感じました。（文責・研究部 佐伯 妙有）

法律相談事業のご案内

幼稚園経営管理の環境は時代社会を反映し、複雑多岐にわたり、法律的判断をしなければならない状況に迫られる案件に対し、迅速に専門の法律相談ができるよう、県連として法律相談を次のとおり実施しておりますので、お悩みの切にはご相談・利用をお願いします。



- 1 無償の相談業務**
 - ・幼稚園の経営、施設管理、労務管理等に関する口頭による法律相談
 - ・幼稚園運営に関する諸規則、約款等を作成する上での指導・助言
 - ・一般的な法律問題、法律文書に対する口頭での指導・助言
 - ・一般的な法律情報の提供
- 2 相談内容により有償となる業務**
 - ・幼稚園に発生した訴訟事件の受任
 - ・交渉事件その他法律問題の処理・解決のために一定の手続きを要する事件又は継続した業務の遂行が求められる事件の受任
 - ・幼稚園が必要とする契約書等の書面作成
 - ・書面による回答、特殊かつその検討に相当程度の時間を要する事案についての回答、書面の作成を要する助言等
 - ・幼稚園長及び教職員に対する法律講演

3 県連法律顧問契約事務所

R&G横浜法律事務所
29年4月10日より下記の住所に移転致しました。電話番号・FAX番号・メールアドレスに変更はございません。
〒221-0012 横浜市西区みなとみらい4-4-2
横浜ブルーアベニュー2階
(代表) TEL.045-671-9510/FAX.045-671-9523
県連担当窓口 **西村 将樹** (にしむら まさき) 弁護士
(専用) TEL.045-671-9654 メールアドレス: nishimura@rglo.gr.jp
※相談の際は専用番号におかけください。



相談の際には、県連加盟と幼稚園名をお伝えください

事業要項 教育相談事業のご案内

- ・実施曜日
・「ようちえん会館」にて電話、面談による相談日
毎週火曜日 10:00～12:00
毎週水曜日 14:30～16:30
- ・出張相談・講演が可能な日
火曜日午後、水曜日午前、または金曜日
- ・形態
教育相談に係る講演および幼稚園への出張相談、及び電話相談、面談。
- ・相談費用 無料
- ・相談の申込み
電話またはホームページから、神奈川県私立幼稚園連合会事務局へ申込みください。
TEL.045-440-3210
ホームページアドレス: <http://www.shinshiyou.com/>



本格的に新学期です。皆さん戸惑いはないでしょうか。何となくもやもやすなどがもしおありでしたら、話すほどではないことを話してみませんか。話しながら自分や人がわかり、状況や世界が見えてきます。お話を伺いにも参ります。お電話でもかまいません。微力ですが、お待ちしております。

教育相談員 **鈴木 敦子** 先生(臨床発達心理士)



編集後記
最近の自動車は、自動ブレーキやレーダークルーズコントロール等、とても進化しています。ある自動車メーカーでは、目的地を設定すれば、ドライバーが運転することなく目的地まで行く、自動運転の路上試験が行われているそうです。自動運転と聞いて私が思い出すのが、かなり昔のアニメの「スーパージェッター」に出てくる流星号。自動運転は勿論のこと陸・海・空どこへでも行ける乗り物です。

研修会報告 研究部主催 研修事業部主催

- 5月9日(木)
若手後継者のための保育勉強会 かながわようちえん会館 39人
「教育要領の改訂と今後の課題について」
講師・コーディネーター 玉川大学教授・四季の森幼稚園園長 **若月 芳浩** 先生
- 5月17日(水)
新規採用教員研修会 かながわようちえん会館 147人
「保育者としてのスタート 子どもたちのために」
聖徳大学 教授 **塩 美佐枝** 先生
- 5月31日(木)
特別支援教育研修会兼10年経験者研修会 かながわようちえん会館 120人【予定】
「気になる子を無理なく育てる」 演習: 気になる言動の抽出
特定非営利活動法人発達支援機関 リソースセンターone 代表理事
臨床発達心理士 **上原 芳枝** 先生

ようこそ連合会へ 新規加盟園情報

Welcome
川崎市幼稚園協会
学校法人ひかり学園 第一ひかり幼稚園
〒210-0014
川崎市川崎区貝塚1-12-12
TEL. 044-244-5541
FAX. 044-244-5542
設置者・代表者・園長/松本 王 干
創立年月日/昭和28年10月31日
ホームページ/<http://frontiersoft.hetempl.jp/hikari/>



キリスト教保育連盟
清水ヶ丘教会学園 白百合光の子幼稚園
〒232-0006
横浜市中区南太田1-37-10
TEL・FAX. 045-713-8703
設置者・代表者/内藤 雅 俊
園長/中島 聡
創立年月日/1959年5月7日
ホームページ/<http://www.shimizugaoka.com/shirayuri/>



お知らせ 県連ホームページ「会員ページ」開設

平成29年3月、県連ホームページに「会員専用ページ」を開設しました。WEB上で会員情報を変更できるだけでなく、メールアドレスを登録することにより、県連からの案内や資料をメールで受け取ることができます。なお、「会員情報のWEB変更システム」についての詳細・ご案内は、3月8日付け文書で会員皆様にご送付しておりますので、まだアクセスしていない方は、一度ログインして会員情報の確認をお願いします。

今後は、会員の皆様の利用価値が上がるよう、資料のダウンロードや講習会の申込み受け付けなどのシステムを付加し、より便利で多機能なホームページを目指してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(広報室ホームページ担当 藤田 聡)



From the Public Relations Section

先日、夢の分子と言われるカーボンナノベルトの合成に、名古屋大学チームが世界で初めて成功したというニュースがありました。それを基にカーボンナノチューブを意図した形に作ると、その用途は無量大で、圧倒的な性能を持ったコンピュータや、SFの世界だった宇宙エレベーターの開発も夢ではないとの事です。あまり遠くない未来では、本物の流星号が宇宙を走り廻っているのかもしれないね。

総務部長 荻込 大